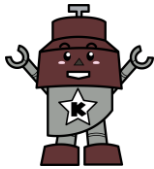


 <p>市長 奥ノ木信夫</p>	<p>埼玉県 かわぐちし 川口市</p>  <p>川口市 市章</p>	<p>【データ】 令和6年4月1日現在</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口：607,279人 ・世帯数：304,393世帯 ・面積：61.95k㎡ ・市の花：鉄砲百合 ・市の木：サザンカ ・特産物：鋳物、植木、釣竿 ・主な祭：たたら祭り <p>市産品フェア</p> <p>【健康都市連合日本支部担当課】 保健部 保健総務課 電話 048-229-3291(直通)</p>
---	---	---



川口市マスコット
「きゅぼらん」

●川口市の概要

川口市は埼玉県の南端に位置する都市です。荒川を隔てて東京都に接し、江戸時代から鋳物や植木などの産業が発展。その後、住宅都市化が進みました。首都東京と隣接しているという利便性を活かしながら、固有の伝統ある“ものづくりのまち”として、活力あるまちづくり・人づくりを目指します。

●川口の魅力を一言で紹介するキーワード

「あ・い・う・え・おのまち 川口」



あ 荒川・芝川：川のまち ～川口を育んだ川の恵み～

大消費地江戸と川口を舟運で結んだ荒川・芝川・見沼代用水。鋳物や農産物など、川口の産業の発展を支えた母なる川たちです。いまま市内には大小400もの川が流れ、周囲の木々とともに四季を彩ります。



い 鋳物・木型・機械：産業のまち ～伝統の“ものづくり”～

鋳物の起源は室町時代にさかのぼるといわれ、機械・木型とともに発展してきました。江戸時代には釣竿（和竿）製作・味噌醸造・織物なども発展。

“ものづくり”の技術と精神は、川口のDNAなのです。



う 植木・花卉：緑のまち ～江戸から続く特産品～

江戸時代から続く植木産業。土壌・地形・立地に恵まれ、伝統の技が創りあげた「安行植木」はいまや世界ブランドに。生け花に気品と風格を醸す枝物は、その技術の確かさから「赤山物」と称され市場の信頼を得ています。



え 映像：Dシネマのまち ～SKIP シティを拠点に集積～

次世代の映像産業を担う人材を“育てる”仕組みが SKIP シティに集積。映像を見る場・学ぶ場・作る場・発表の場が揃った全国にも類いまれな環境が、映像にチャレンジしたいという“思い”を本気の“熱意”に高めています。



お 御成道：将軍社参のまち～徳川将軍日光社参の宿場町～

日光御成道（にっこうおなりみち）は、歴代の徳川将軍が日光社参に使った将軍専用道です。川口宿・鳩ヶ谷宿の名残が江戸の香りを伝えます。



お オートレース

川口オートレース場では、時速150kmのスリルとスピードによって展開される、スリルのあるドラマを楽しめます。

●健康・生きがいつくりの推進

本格的な少子・高齢化社会を健康で活力あるものとしていくためには、市民一人ひとりが、健康のすばらしさを認識し、自分の健康は自分でつくるという意識と自覚をもつことが重要です。そこで、平成13年度において「健康日本21」で提案されている「自分の健康は自分でつくる」という理念と、「第3次川口市総合計画」で方向づけられていた「健康な暮らしづくり」という理念とを考慮し、「健康で生きがいをもって暮らすことができる都市・川口」を基本理念とした「川口市健康・生きがいつくり計画」を策定しました。

この基本理念が目指す姿は、市民一人ひとりが健康で生きがいを持つことを、当市の健康・生きがいつくりを推進するうえで最大かつ恒久的なものと考え、平成25年度に策定した「川口市健康・生きがいつくり計画（第二次）」においても継続しております。

また、この基本理念を実現するため、「健康日本21（第二次）」で提唱されている基本目標を考慮するとともに、生活にハリを与え、より良い人生を送るために重要な要素となる「いきがい」を合わせた4つの基本目標を掲げ、目標を達成するための取組を推進します。

4つの基本目標

- ・健康寿命の延伸と健康格差の縮小
- ・生活習慣病の発症予防と重症化予防
- ・健康を支え守るための社会環境の充実
- ・生きがいつくりの推進

●健康・生きがいつくり通信

市民の皆さまの健康に関する意識や関心をより一層高め、健康に暮らすことができるように、年1回「健康・生きがいつくり通信」を発行しています。

- ・令和5年度（第18号）

【結核～正しい理解のために～】

●川口健康フェスティバル

市民一人ひとりが健康のすばらしさを認識し、自分の健康は自分でつくるという自覚を持っていただくため、市民主役の健康づくりを実現することを目的に、健康増進普及月間である9月に開催し、各種表彰、健康講演等を行っています。